

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市錦ヶ丘児童館
2 指定管理者	特定非営利活動法人みやぎ・せんだい子どもの丘
3 指定期間	令和2年4月1日から令和7年3月31日まで
4 施設の利用状況	《利用者数》32,874人（前年度比 74.1%） 令和元年度 44,391人 平成30年度 46,757人 平成29年度 44,147人
	《事業》 児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とした児童厚生施設としての事業
5 収支の状況	《費用》 ・ 指定管理者に支払った費用 75,993千円（70,985千円） ・ その他市が負担した費用 0千円（0千円） （ ）は前年度決算額
	《収入》 ・ 使用料収入 0千円（0千円） ・ その他収入 0千円（0千円）
6 利用者の声	《実施状況》 利用者アンケート、児童館運営委員会、児童クラブ保護者会を実施。

二 管理運営に係る評価

(モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野	所見	評価
I 総則	「児童館ガイドライン」等に基づき、設置目的を踏まえた施設運営上の基本方針を定め、職員への共通理解を図るとともに、館内掲示等で利用者にも周知している。職員の倫理保持・服務規律遵守については、研修や会議で確認する取り組みを行っている。また、地域の特性やニーズを踏まえながら各事業に取り組み、施設目的の達成に努めている。	33/33
II 施設の運営管理体制	職員の配置や業務内容の共有、開館の実績、経理書類の作成、個人情報の保護等について適切な管理体制が構築されている。また、各種マニュアルの整備、施設内外の点検、毎月の避難訓練等の実施により、利用者の安全に留意した運営に取り組んでいる。	30/30
III 施設・設備の維持管理	日常的・定期的な点検や清掃により、建物・設備・外構等が適切に維持管理されている。備品や鍵の管理も適切に行われているほか、施設内外の巡回や仙台市環境行動計画に則った取り組みも実施されており、安全で快適な環境が保たれている。	23/23
IV サービスの質の向上	名札の着用、児童館だよりの発行、ブログの更新による利用情報の提供等、利用者が利用しやすい環境づくりに努めている。また、各種研修会への参加を通して職員の専門性を高めているほか、意見箱の設置、アンケートの実施等で利用者のニーズを把握し、施設運営に生かすなど、サービスの質の向上に努めている。	28/28
V 施設固有の基準	児童クラブにおいては、子ども達が安心して過ごせる生活の場としてふさわしい環境の整備と安全面の配慮が行われており、家庭や学校と情報共有を図り連携した育成支援に努めている。また、昨年度より、コロナ禍のために縮小しているが乳幼児向けの交流の場を工夫するなど、子育て家庭を支援するとともに、子育て支援クラブをはじめとする地域組織・団体・住民・関係機関との連携、相互交流を図りながら児童館の運営に取り組んでいる。	18/18

三 評価総括

《指定管理者（特定非営利活動法人みやぎ・せんだい子どもの丘）による自己評価》
<p>令和2年度は大きく社会情勢が変わり、児童館の中での、子どもたちの大事な遊びをどのように確保するかを念頭において取り組みました。様々な出来事に柔軟に対応出来るように十分な話し合いと心構えを持って対応した1年でした。</p> <p>(1) 放課後健全育成事業 児童館生活に今までに無かった制約ができましたが、魅力のある遊びを十分に確保し子どもの不安を出来るだけ取り除けるように配慮しました。特に支援の必要な子どもには一人一人の環境に配慮し、丁寧に関わりを持ちました。衛生管理にも気を配り安心して過ごせる場所作りを心掛けました。</p> <p>(2) 児童健全育成事業 小学生を中心に、季節を感じられるような取り組み、工作、音楽活動、造形などを少人数の参加で工夫をしました。また、館庭やコミュニティーセンターなど大きなスペースを使って身体を動かせる遊びを展開しました。児童館ならではの異年齢の交流も、新しい出会いができるように、小さいグループを作り、活動に盛り込みました。</p> <p>(3) 子育て家庭支援事業 地域の母親で成り立つ、子育て支援クラブを支えました。また、幼児クラブやボランティアの読み聞かせを通して子育て中の保護者の出逢いの場になるように意識をしました。新しい活動としては、家では難しいダイナミックな造形遊びを取り入れ、身体を使って表現することの楽しさを体験できるように準備し、子どもと保護者に満足できる時間を提供する事ができました。</p> <p>(4) 地域交流推進事業 今年度は、今後の子どもたちのために何が出来るかを話し合う機会を持つことができました。地域の方や学校関係者とともに、情報交換をしながら、子どもたちの未来を支えられるように、また、社会の情勢の変化に柔軟に対応できるようにしました。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>令和2年度は、コロナ感染症の影響で緊急事態宣言が4月に発令され、小学校が5月まで休校となったが、休校中も児童クラブの受け入れを行った。この間、乳幼児親子の自由来館及び小学生の自由来館を休止していたが、その後、乳幼児親子の自由来館は6月から平日午前のみ再開し、小学生の自由来館は10月から土曜日のみ再開した。感染症対策のための参加人数の制限や環境の工夫を行うなど様々な配慮と努力を要した児童館運営となった。</p> <p>子育て家庭支援事業においては、登録制の幼児クラブ2グループの月1回の活動と、季節の工作を楽しむ「アトリエあおむし」や地域のボランティアの方のお話を月1回開催してきた。子育て支援クラブと共催した企画行事では、「クラフトパン」や「ポーセラーツ」、「寄せ植え講座」など母親向けの内容を提供するなど、親子遊びの学びの場であり母親のリフレッシュや友達作りの場として様々な保護者のニーズに合った多彩なプログラムを提供しており、地域の子育て支援の拠点としての役割を担っている。</p> <p>放課後児童健全育成事業においては、コロナ禍の中、子ども達の不安を緩和するために遊びの充実に努めており、ダイナミックな絵具遊びや、水遊び、オータムパーティー、クリスマスウィークなど楽しいワークショップを複数回開催している、又、野菜栽培に取り組む「アグリキッズ」では、ジャガイモやサツマイモ、大根、ネギなどの植え付けと収穫も取り組み、子ども達の興味関心を広げ友達と一緒に活動する機会を作っている。意欲的な行事を多く取り組んでおり、子ども達の豊かな人間性や自ら学び考える力を育てている。</p>	S

四 その他特記事項

(上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取り組み等、特に記載すべき事項があれば記載する)

特記事項

◎ 評価担当課（施設所管課）：子供未来局子供育成部児童クラブ事業推進課